

平成26年度決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成26年度(第10期)決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

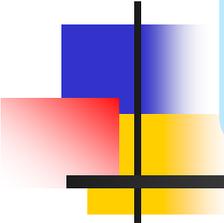
[個別決算]

- ・ 事業報告
- ・ 貸借対照表
- ・ 損益計算書
- ・ 株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表
- ・ 附属明細書

[連結決算]

- ・ 連結貸借対照表
- ・ 連結損益計算書
- ・ 連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

平成27年6月8日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成26年度決算概要

(平成26年4月1日～平成27年3月31日まで)

- 平成26年度事業概要
- 平成26年度経営状況及び財政状態(連結・個別)
- 平成27年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当期の通行台数は、前年同期比0.8%増の4,032万台と過去最高となりました。その結果、料金収入は、615億円となり、年度当初に独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定を踏まえて定められた計画収入を11億円上回りました。
- これに伴い、道路資産賃借料は、機構への支払額が441億円となりました。
- より安全・安心・快適にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、アセットマネジメントの考え方により、舗装補修、長大橋塗替塗装、耐震補強、橋梁のコンクリート剥落防止対策などの構造物修繕工事を計画的かつ効率的に実施しました。

舗装補修(西瀬戸自動車道)



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



耐震補強(撫養高架橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PAにおいて各種イベントを実施するとともに、施設の整備・充実、混雑対策等を実施しました。
 - 淡路SA(上下)休憩施設のリニューアル
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
- 地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務を受託しました。
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA((独)国際協力機構)、地方公共団体等から長大橋技術支援業務等を受託しました。

淡路SA(下り)リニューアル後の外観



跨道橋(淡路市管理)点検業務



経営状況の総括

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

連結決算における経常利益は10億円、特別損失・法人税等を加減した結果、当期純利益は、前年同期比6.1%増の9億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	761	788	△27	△3.4	743	770	△27	△3.5
営業費用	753	779	△25	△3.3	741	766	△24	△3.2
営業利益	7	9	△1	△16.0	1	4	△2	△58.4
経常利益	10	12	△1	△13.1	3	6	△2	△44.6
当期純利益	9	8	0.5	6.1	4	4	△0.5	△11.7

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕、道路修繕
JBツールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(615億円)、道路資産完成高(105億円)などの営業収益722億円に対し、道路資産賃借料(441億円)、道路資産完成原価(105億円)及び管理費用(174億円)の営業費用が720億円となり、営業利益は1.8億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	722	741	△18	△2.4	722	740	△18	△2.4
料金収入	615	653	△37	△5.7	615	653	△37	△5.7
道路資産完成高	105	85	19	22.6	105	85	19	22.6
その他の売上高	1	1	0.01	0.8	2	1	0.4	23.8
営業費用	720	738	△17	△2.4	721	738	△16	△2.2
道路資産賃借料	441	466	△24	△5.2	441	466	△24	△5.2
道路資産完成原価	105	85	19	22.6	105	85	19	22.6
管理費用	174	186	△12	△6.7	174	186	△11	△6.0
営業利益	1.8	2.4	△0.6	△25.1	1.4	2.9	△1.4	△50.6

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(15億円)及び受託事業等収入(22億円)の営業収益38億円に対し、休憩所等事業費用(10億円)及び受託事業等費用(21億円)の営業費用が32億円となり、営業利益は5億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	38	47	△8	△18.8	20	29	△9	△31.3
休憩所等事業	15	14	0.8	5.9	3	3	0.5	15.8
受託事業等	22	32	△9	△30.2	16	26	△9	△37.0
営業費用	32	40	△8	△19.8	20	28	△8	△29.2
休憩所等事業	10	9	1	15.8	3	2	1	52.8
受託事業等	21	31	△9	△30.5	16	26	△9	△36.3
営業利益	5	6	△0.8	△12.8	0.3	1	△1	△74.6
休憩所等事業	4	5	△0.5	△10.6	0.2	0.9	△0.6	△74.6
受託事業等	0.9	1	△0.2	△23.0	0.1	0.4	△0.3	△74.6

財政状態(貸借対照表)

(平成27年3月31日現在)

- 資産の総額486億円に対し、負債の総額は327億円となり、純資産の総額は、前年度末から24億円増加した159億円となりました。
- 固定資産…前年度に引き続き、ETC設備及び料金收受機械設備等(17億円)を更新しました。

単位:億円

区 分	連結決算			個別決算		
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	平成26年度	平成25年度	増(△)減
資 産	486	565	△78	422	502	△80
流動資産	261	349	△87	240	328	△87
固定資産	224	216	8	181	173	7
負 債	327	430	△102	280	366	△85
流動負債	94	174	△79	89	167	△77
固定負債	232	255	△23	190	198	△7
純資産	159	135	24	141	135	5
株主資本	174	162	11	141	135	5
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	94	82	11	61	55	5
その他の包括利益累計額	△15	△27	12	—	—	—
(負債・純資産合計)	486	565	△78	422	502	△80

平成27年度業績見通しについて

平成27年度業績見通しは、連結で4億円の利益を見込んでおります。

単位:億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成27年度 (業績見通し)	平成26年度 (決算)	増(△)減	平成27年度 (業績見通し)	平成26年度 (決算)	増(△)減
営業収益	759	761	△2	743	743	0
高速道路事業	712	722	△10	712	722	△11
関連事業(うち休憩所等事業)	47(16)	38(15)	8(0.2)	31(4)	20(3)	10(0.01)
営業費用	755	753	2	743	741	1
高速道路事業	712	720	△9	712	721	△9
関連事業(うち休憩所等事業)	43(13)	32(10)	10(2)	31(4)	20(3)	11(0.7)
営業利益	4	7	△4	0.08	1	△2
高速道路事業	0.08	1	△2	0.08	1	△1
関連事業(うち休憩所等事業)	4(3)	5(4)	△2(△2)	0(△0.5)	0.3(0.2)	△0.3(△0.7)
経常利益	5	10	△5	0	3	△3
当期純利益	4	9	△6	0	4	△4

※平成27年度業績見通しについては、当社の現時点における事業計画ベースのものです。